

広報 なかわだ

1月の予定

第407号

教会委員会	12日(日)
信徒の会	19日(日)
子どもミサ	26日(日)
信徒大会	26日(日)



2014年1月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2014年1月5日

The Baptism of Christ (Andrea del Verrocchio & Leonardo da Vinci 1472-1475)

主の洗礼

主任司祭 小林 陽一

新年おめでとうございます。

イエス様が洗礼をお受けになった「主の洗礼」の祝日は、今年は1月12日(日)となっています。洗礼は水に浸すこと、洗い清めることを意味しています。初代教会(紀元後1世紀)では洗礼式は川や泉のような所で行われ、求道者は水に身体を浸して洗礼を受けたようです。

今から2000年前、まだイエス・キリストの宣教活動が開始されていない頃、洗礼者ヨハネは「悔い改め」の洗礼をヨルダン川で人々に授けておりました。人々は、「悔い改めよ、天の国は近づいた」と呼びかけるヨハネの声を聞き、ヨハネのもとで洗礼を受けました。その洗礼を受ける人々の中にイエスがおられ、洗礼を受けようとしておられました。洗礼者ヨハネはそれを思いとどまらせようとして、「私こそあなたから洗礼を受けるべきなのに、あなたが私のところにおいでになったのですか」と言いました。イエスは「今は止めないでください。このように、なすべきことをすべて果たすのは、私たちにとって正しいことです」と言われました。そこで、ヨハネはその言葉を受け入れて、イエスのお言葉どおりにいたしました。

イエスが洗礼を受けてすぐ水から上がると、見る見る天が開けて、神の霊が鳩の形でご自分の上に下ってくるのをご覧になりました。その時、天から「これは愛するわが子、わが心にかなう者」という声がしました。(マタイ福音書3章17節)

以上のようなイエスの洗礼の出来事がありましたが、その意味は、次のような点にあると思われます。

- 1、主イエスが洗礼者ヨハネから洗礼をお受けになったのは、御父の御旨に服するため、御父に従うためだったと思います。主イエスは神でありますから、罪のけがれを持っておられない方です。従って、洗礼によって罪のゆるしを受ける必要はありません。主イエスが洗礼をお受けになったのは、御父に従い、十字架の上で世の罪を一身に背負う神の子羊としての使命を受けるためだったと思われます。
- 2、主イエスが洗礼を受けられたとき、聖霊が鳩の形でイエスの上に下りました。イザヤ書42章1節には「見よ、私が支える私の僕を。私の魂が喜びとする私が選んだ者を。私は私の霊を彼の上に置く。彼は新しい法を諸国に輝かせる」と書かれています。イエスの上に聖霊が下ったことは、イザヤ書のこの箇所が預言されたとおり、一つの使命が主イエスに授けられたことを表すと同時に、聖霊の降臨や聖霊降臨の日を予告するものであったと考えられます。

主の洗礼の出来事の中で御父の呼びかける言葉の中に、御子への慈しみと愛、思いやりが込められています。主イエスの洗礼から、私たちが信仰生活をおくる上で力となる霊的な糧を汲み取っていただければ幸いです。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	水	神の母聖マリア	祭日ミサ(10時)	
3	金		初金ミサ(10時)	掃除
4	土		主日ミサ(18時)	
5	日	主の公現	主日ミサ(9時)	
11	土		主日ミサ(18時)	掃除
12	日	主の洗礼	主日ミサ(9時)	成人の祝い
18	土			掃除
19	日	年間第2主日	主日ミサ(9時)	
25	土			掃除
26	日	年間第3主日	主日ミサ(9時)	子どもとともに捧げるミサ、信徒大会

神に身をゆだねて － 困難を糧として生きる－

最愛の家族との死別、ご自身のクモ膜下出血と幾多の困難も乗り越え、ゆったりと穏やかな中にも凛とした雰囲気をお持ちの位田裕子さん（76才）にお話を伺いました。

▲受洗のきっかけを教えてください。

一幼稚園がカトリックだったからか、小学校低学年の頃は自宅近くにあるプロテスタントの教会になぜか惹かれよく遊びに行っていました。高校卒業後、就職した会社帰りに熱田カトリック教会の働く青少年のための集まり（JOC）に通うようになりました。神父様方のお人柄やお話は素晴らしく、参加している方々も皆優しく通うことが楽しかったです。その頃会社の上司が既に信者であった夫を紹介してくださって結婚を機に受洗しました。その頃は特に意識はしていませんでしたが、今思うと幼い頃から神様に導かれていたんですね。

▲山崎神父様の頃は毎日のように教会に通っておられたそうですね。

一洗礼を受けた時、これからの人生は神様のためにお捧げしようと思っていましたので、山崎神父様のお食事のお世話をするには自分に課せられた使命だと思い、他の方とローテーションを組んで通っていました。教会に通って何よりも嬉しかったことは毎日ご聖体訪問ができることでした。主人が脳血栓で急逝した後も教会に通って神父様のお世話をさせて頂き、本当に神様は良いお仕事を授けてくださったと悲しみよりむしろ喜びの方が大きくなっていきました。

▲しかしその後もご自身のクモ膜下出血、娘さんとの死別とまたもや大きな困難に遭われましたね。

一楽な人生など、どこにもないです。神様は必ず困難を乗り越える力を与えてくださるし、困難な時ほど神様が側にいてくださることを実感しました。悲しみや苦しみが大きければ大きいほど神様は更に大きな力で支えてくださっているのではないのでしょうか。手術後のリハビリも孫の世話をするのも神様から与えられた使命だと思い、感謝して精いっぱい尽くすことで乗り越えてきました。いくつも困難をくぐってきた今では神様に身をゆだねていれば怖いことなど何一つないと思っています。孫たちも優しく成長してくれて嬉しいです。

▲日々どんなお祈りをなさっていますか？どんな聖句を大切にしていますか？

「聖霊来たりたまえ、信者の心に」を朝晩必ず祈ります。困ったときほど聖霊の働きがあり、必ず道は開かれると確信しています。

「自分がして欲しいと思うことは何でも人にしなさい」を心に留め実行しています。

▲信徒の会にメッセージはありますか？

何でも気軽に話し合える分かち合いの場にして頂けたらと思います。



ホームレス支援＜お手伝い募集＞

フィリピン出身の太田ガーリさんが始めたホームレスへの炊き出しを戸塚教会のバーク神父様、福祉の方々为中心となって続けておられる活動に中和田教会もお米などを届ける支援を続けてきましたが、この度実際におにぎりを手渡すお手伝いができる方を募集したいとのことでした。そこで早速当教会でも福祉の方が先遣隊で11月22日（金）にお手伝いに行ってきました。

丁度当日はおにぎりや味噌汁、それに米軍の配給品の水、ビスケットがありました。午後7時前から関内の市庁舎前の駐車場近くにホームレスの方たちが静かに二列になって配給されるのを待っていました。ガーリさんのおにぎりや味噌汁を積んだ車が到着するやいなや、ガーリさんと同郷の若者やホームレスの常連さんが慣れた手つきで素早くおにぎりや味噌汁の大きなポットを配置して準備を整えました。配給する前には主のお祈りをします。水、ビスケット、おにぎりや味噌汁は短時間で配られ、ホームレスの人々もあつと言う間にいなくなりました。その間20分ぐらいです。

お手伝い後には「参加して良かった。なんだか気持ちが良いね」という第一声が聞きました。これからは当教会でも毎週金曜日福祉の方を中心にローテーションを組んでお手伝いしていこうということになりました。どうぞお手伝い出来る方は継続できる、できないは問いませんので中島さんにお声をかけください。ちなみに毎週日曜日は午後8時からカレーを配っているそうです。

（広報）

泉クリスマス合同礼拝に参加！



12月21日 合同礼拝（於宮ノ台幼稚園）



12月15日 『恒春の郷』を訪問



中和田教会の聖夜（12月24日）

今年も、大勢の方々が一緒にご降誕祭ミサに与り、感謝の祈りを捧げました。
また、ミサ終了後には、喜びを分かち合う祝賀会が開催されました。
ベトナムの皆さんには、準備に多大なご奉仕を頂きました。
有難うございました。



上野委員長のコラム

明けましておめでとうございます。

昨年も皆様から多大なご協力を頂き神父様のご指導の下、大過なく教会運営が出来ましたことを厚くお礼申し上げます。
さて、本年度取り組まねばならぬ課題として次のような4つが考えられます。

1、バザーのあり方について

信徒の年ごとの高齢化に伴い実施が負担になっている事情もある。従来通りのやり方で実施するのが適切か。実施の有無を含めて検討する必要がある。

2、主日ミサの典礼奉仕者の交代制の導入について

現在、主日ミサは典礼グループの方の負担が大きいという問題もある。そこで信徒全体で典礼奉仕に関わるようにするため典礼グループを複数編成して、例えば一か月ごとに交代する方法について検討する。

3、災害対策について

昨年9月に臨時信徒大会を開き検討したが、細部について異論があり未だ最終決定していない。これについて詰めが急がれる。

4、教会委員の選出方法について

委員の選出は主として前任者が後任者を選ぶという方法であり当事者は難儀しているのが現状である。適切な選出方法が望まれる。

以上当面の課題について述べました。委員会の新体制は1月末の信徒大会で決まります。新体制においても、これらの課題に取り組んでいただくよう引継ぎたいと考えております。課題の解決、達成の為に皆様のご協力をお願い致します。



信徒の会： 例会の報告

12月15日、20名以上のご出席を頂いて例会を開催しました。

まず聖書百週間について紹介され、参加された方からの補足説明がありました。中和田教会で実施するか否かは別として、大変興味深い活動と感じました。

次に委員会からの依頼で教会の運営に関する重要事項につき討議しました。

前回の委員会では、典礼グループから、地区単位の当番制で典礼を実施してみたいとの要望があり、これに対して年齢構成や人数などで地区割りが偏っており、これを是正することが先決との意見も出されました。これらに関し信徒の皆さんのお考えを伺うと共に、今後の堅信式の実施方法（次回は来年7月に決定済み）、行事の進め方、全員がどれか一つのグループ（典礼、宣教、福祉などの）に登録する登録制の是非、教会委員の決め方等についても議論しました。

時間が不足気味で十分煮詰まったわけではありませんが、幅広い意見が出され有意義な議論となりました。頂いた御意見は委員会でもんだ上で、提案として1月末の信徒大会にはかることになります。

12月14日には忘年会も開かれ、楽しい一時を過ごすことができました。お忙しい中でのご準備、ご参加、どうも有り難うございました。



（岩淵 英介）

財務グループより

メンバー

(甲斐 清尾 谷 永島 中村 松尾)

皆さん日頃教会財務にご協力頂き感謝いたします。

ご存じの通り中和田教会は宗教法人カトリック横浜司教区の教会です。教会の事務・財務は2つの基準。教会法と宗教法人法・税法・墓地埋葬法などの国の法律さらに教区が定める会計その他諸基準などで、教区に所属の小教区は統一した事務処理を行っています。特に財務については、毎月教区に収支報告書を提出することになっています。

現在、標記の6名で献金收受・現預金管理・銀行入出金・送金・手許金・出納帳記帳・収支報告書作成・月次決算報告・年度予算決算処理・報告・資産管理・傷害・損害保険・教区会計報告など多種の事務処理・その他金銭に関わる業務を行っています。

当教会の財政状況の詳細については1月26日(日)の信徒大会で説明しますが、近年月定献金が減少傾向にあり、清掃の見直し等、経費削減の努力もしています。教会の支出を賄うものは月定献金・ミサ献金・祭儀献金など皆さんの献金収入によります。外部からの支援はありませんので安定した財政とするためにはお一人当たり月額3500円程度が目安となります。今後とも献金にご協力いただくようお願いいたします。

その他、来年度からは教区指導その他により金銭管理を財務に一元化します。従来福祉グループが行っていた外部団体への寄付については、今後委員会の承認により財務が担当します。

(甲斐至信)

委員会だより

(文中敬称略)

△12月7日(土) 12名出席▽

■小林神父様の話

・2014年中和田教会の堅信式

7月6日(日) 午前9時 主日ミサにて梅村司教様 司式

当日スケジュールについては教区事務所に(書面)知らせる必要あり。宣教G↑申込みの準備、堅信希望者の代父、代母を決める

堅信の勉強担当 小中高生↑井上さん、高校生以上、成人↑小林神父

*中和田以外で受洗した方は早めに主任司祭に洗礼証明書を出して頂く必要がある。

*教区内の日程調整を超えた事情でキャンセルになる場合もある。

・主の降誕夜半ミサ/12月24日(火) 7時 主の降誕昼間ミサ/25日(水) 10時

一般の方にもご参加いただけるよう呼びかけましょう!

■報告事項(スケジュール確認)

1月26日(日) 信徒大会

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・1月12日(日) 成人の祝い 予定該当者6人
去年に準じお祝いする。パーティ(行事委員)

・祈る力を育てる部門として共同体で祈る意識を高め、信徒全体で典礼奉仕に関わるようにするため、地区(A、B、C、D)単位に一ヶ月単位で主日ミサを担当すること

を提案したい。

↓信徒の減少、高齢化の影響で地区によっては現在でも行事委員を決めることが難しくなっている。地区編成を根本から見直す必要があるのではないかと。(森脇(彰))
↓信徒大会に地区再編成を視野に入れた上で上記案を提案することとする。

●財務(甲斐)

・2014年度予算案について

月定献金が減少傾向にあるため維持管理費、特に業者に委託している清掃費用を縮小する。今後は清掃の在り方を見直す。

・2013年度の建設資金から信徒のための災害対策用品を当初の予算案にあった半分程度の額で購入する。残は大型修繕のために繰り越す。
・来年度のバザー開催については未定ではあるがバザー収益として予算案に計上する。

↓止めるのは簡単だが、親睦を深めるためにも必要ではないか。信徒大会で諮る。

・2014年度 愛の献金(指定献金)は減額する。

●要理(森脇(彰))

・12月22日(日) ミサ後、新集会室の掃除をしてから要理のクリスマス会を行う

・12月24日(火) 午後6時半より子供の出し物、朗読と歌を歌う

●宣教(石井(洋))

・12月21日(土) 泉区民合同クリスマス礼拝参加費2万円。

練習会場費9回分(半額)は区民クリスマス実行委員会から支払われる。↓承認

●福祉(中島)

・2013年度、バザー収益金(預かり金)の収支報告

2014年度以降、外部への寄付は財務に引き継ぐ(甲斐)

福祉の活動は従来通り。一年の活動費は年一回清算するものとする。

●行事(永島)

・12月24日(火) パーティ 紅茶とお菓子(子供向け)

・ベトナムの副菜とデザート(星川)

・12月25日(水) 紅茶とお菓子

●広報(今井)

原稿のお願い 1月号は財務Gでお願いします。

●信徒の会(岩淵)

・新集会室の机を運びやすく折りたためるものを購入したい。↓建設会計から購入(甲斐)

いずれは椅子も購入したい(丸椅子は安定が悪いため)

■討議報告事項(上野)

・クリスマス飾りつけは毎年通り高田さんが行ってくれました。

・年始の賀詞交換は去年に準じ行わない。

次回委員会1月12日(日)

以上

